

総合特別区域評価・調査検討会における評価結果の概要(平成30年度)

2. 分野別状況(2)地域活性化総合特区 ①グリーン・イノベーション分野(4/7)

	総合評価 (ⅠとⅡとⅢを1:1:2の割合で計算)	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	総合評価に係る専門家所見(主なもの)
		目標に向けた取組の進捗	支援措置の活用と地域独自の取組の状況	取組全体にわたる事業の進捗と政策課題の解決	
レアメタル等リサイクル資源特区 (秋田県)	4.5	4.8	4.2	4.5	<ul style="list-style-type: none"> ・従来の実績をベースに、環境省のリサイクルシステム統合強化事業を活用して今後発生する廃太陽光パネルリサイクルへの準備を進めるなど、着実な進展が認められる。 ・県独自の補助制度等による取り組みも充実している。 ・評価指標(1)「環境・リサイクル関連企業の製造品出荷額」の出荷額指標が目標値を大きく上回り着実に積み上げている中、評価指標(2)「家電等金属系使用済製品の搬入量」は目標値を下回っているが、今後の目標達成へ向け、要因の分析や今後の見通しへの考察等、着実な進行管理が期待される。 ・人口減少社会やグローバル化が進行する中、小型家電や太陽光発電モジュール等を含めた金属系使用済み製品において、広域収集や一体処理などのリサイクルシステム効率化を図る取り組みは、今後の地域活性化、持続可能な住民サービス、地域循環共生圏形成の観点からますます重要であり、金属リサイクル資源供給基地の安定的な構築を目指してほしい。